



★ピア・ネット・マンスリーの発行について

ピア・ネット・マンスリーは、・・・各団体の活動状況に合わせて定期的に発行していきます。《ピア・ネット事務局》



学習ステーション ★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

今年も新入生サポートを実施しました

学習ステーションでは、新入生が充実したキャンパスライフをスタートできるよう、毎年「新入生サポート」を実施しています。4月1日(金)～4月15日(金)の2週間に渡り、学生センター前に特設のブースを設け、学内施設や時間割の組み方、サークル活動や大学生活など、新入生の様々な質問に対応しました。初めてサポーターとして活動する学生スタッフは、当初はごちなく戸惑う場面もありましたが、真剣な新入生の眼差しにかつての自分たちの姿を重ね合わせて親身に向かい合い、最後は先輩として堂々とアドバイスすることができました。

1,700名越えの新入生と接することができ、学生スタッフ自身も一回りの成長を実感できました。



時間割の組み方などの質問でブースが賑わいました

また、4月13日(水)、ボアソナード・タワー 26階スカイホールにて、「有名教授に会おう！」プロジェクトの企画により、「尾木ママに聞こう！大学生になるとは？」と題した講演会を開催致しました。昨年度も大好評だったこの企画は、今年度もマスメディアでおなじみの「尾木ママ」こと尾木直樹教授を講師に迎え、新入生が受けてきたゆとり教育の本来の目的や世界から大きく遅れをとる日本の教育の現状などを国際的な視点からお話し頂きました。また学生生活を送るにあたって、「本学は充実した留学制度をはじめ、チャレンジできる環境が揃っている今はディスカッション力など国際社会で通用する力が求められている。海外に出て、そこから学びを、広げていくことも今後は大切だ。」とお話しされ、参加した新入生の心に響いたようです。

新入生サポートの一環として企画された本講演会は、主に入学したばかりの新入生を対象とし、学生スタッフ自らが講師への依頼、イベントの告知、会場設営の準備、当日の運営に至るまでのすべてのプロセスを主導して、開催が実現しました。

最後に新入生たちが、これから大学生活を送るうえで感じている不安や疑問を直接質問、尾木教授は一つ一つの質問に寄り添い丁寧に回答してくれました。また参加した新入生と一緒に写真を撮影し、心に残るとても良い記念となりました。

参加した新入生からは、「『学生』として自主的に学んでいき、4年後には胸をはって卒業したいと思いました。」「『物事には必ず本質がある』という言葉が心に響きました。」「今まで知らなかった日本や世界の教育現場のことを知ることができ、視野が広がりました。」「自分を見つめなおす良いきっかけとなりました。」など、力強い意見・感想が寄せられました。



新入生に力強い言葉を投げかける尾木直樹教授



企画から当日の運営を行ったスタッフ



ボランティアセンター

まちなわ Tokyo Bloomin に参加しました

3月26日(土)に「まちなわ 桜まつり」が飯田橋グラン・ブルーム管理組合主催のもと開催されました。本イベントは飯田橋で生活する、働く、学ぶ、様々な人々が飯田橋グラン・ブルームを舞台に展開されるイベントを通じ多目的に交流できる場づくりを目的に例年開催されており今回は和をテーマにした「見て・感じて・楽しく触れあえる」イベントでした。

市ヶ谷ボランティアセンター、登録団体(8団体)と連携し本イベントを盛り上げ、862名(法政大学のブース参加者数)の方々に参加していただきました。

主な団体が実施した内容は以下の通りです。

- ◇児童文化研究会&東京・春・音楽祭&株式会社 KADOKAWA「東京春祭 for kids」株式会社 KADOKAWA が出版している「はなかつぱ」の絵本(巨大絵本)の読み語りを児童文化研究会が行いその読み語りに合わせて、東京・春・音楽祭の演奏者が音楽を奏でました。
- ◇茶道研究会「まちなわ茶会」茶道研究会がお茶を点て、お菓子とお茶を来場者に振る舞いました。またお茶の作法についても教えることが出来ました。



児童文化研究会&東京・春&株式会社 KADOKAWA
音楽と読み語りのコラボレーション



茶道研究会 子供たちにお茶の作法を教えている様子

チーム・オレンジが『3.11 東日本大震災復興募金活動』を実施しました

東日本大震災被災から5年となる2016年3月11日に「3.11 東日本大震災復興募金」を実施しました。

この活動も5回目となります。昨年に引き続き法政大学の学生だけでなく、付属高校（法政大学中学高等学校、法政大学女子高等学校）の生徒と共に行いました。活動は、大学生10名・中高5名・女子高13名の総勢28名で行いました。

寒い雨の降る天候の中、飯田橋駅前2か所と市ヶ谷駅前の2か所の計4か所で募金活動を実施しました。募金金額は、合計で377,562円となりました。こちらを3等分(125,854円)し、3月14日に岩手県・宮城県・福島県が設置する復興支援義援金に全額寄付しました。

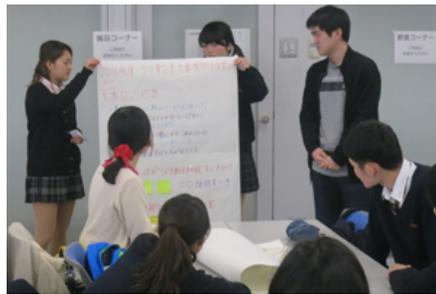
◇参加した学生の感想

「今年震災から5年が経ちました。昨年も同じ場所に立ち活動を行いましたが、昨年より意識を向けてくれる人が少なくなったというのが正直な印象です。募金活動を行うことで思い出してもらえればいいのですが、活動がなくなったら、忘れてしまう人がほとんどだと思いました。」(大学3年生)

「私たちのやっている事に賛同する人は多いと思うけれど、実際に募金する人はあまりいないだろうと思っていました。でも思ったより多くの人が始まり早々募金してくださり、とても驚き嬉しかったです。小学校低学年の学校帰りの男の子がお小遣いだと思われる100円を募金箱に入れてくれた時は、こんなに小さな子も震災の重みや募金の大切さをわかってきているんだと嬉しかったです。多くの人が協力してくれる姿を見て、私も改めて5年前の震災に向き合うことの大切さや、自分に出来る事をやることの大切さを感じました。(高校生)



市ヶ谷駅前の活動風景



振り返りの様子(班発表)

課外教養プログラム(学生センター) 「新入生のためのキャンパスツアー～多摩キャンパスを知ろう～」を実施しました

4月5日(木)、6日(金)の2日間、学生センター・課外教養プログラム「新入生のためのキャンパスツアー～多摩キャンパスを知ろう～」を実施しました。この企画は入学したばかりの新入生に多摩キャンパスの施設を知ってもらおうと同時に、同級生や同じ新入生同士で交流を持ってもらい、新入生の不安を解消し、大学生活をスムーズにスタートしてもらうために行いました。当日は、学生スタッフが自分たちの経験から入学時に知っておいたら良かったことなどを記載したキャンパスマップを配り、EGG DOMEや図書館といった施設を中心に学生スタッフがガイドをしながらツアーを行いました。また、ツアー中に学生スタッフが考えたクイズなどをして、和やかな雰囲気となり、参加同士の交流も出来ました。参加者からは、「まだ知らなかったキャンパスの場所を知ることが出来た。」、「参加者同士も交流が出来て楽しかった。」、「フレンドリーな雰囲気で良かった。」といった感想が寄せられ、満足度の高い企画となりました。



キャンパスツアーの様子



選書ツアーの様子



図書館 第9期ライブラリーサポーター募集!(市ヶ谷・多摩・小金井)

図書館では、第9期「ライブラリーサポーター」を募集しています。利用者の想いをカタチにするチャンスを学生に提供しながら、学生の目線を活かした活動を展開していきます。私たちの図書館をより魅力的なものにしていきましょう♪

FD推進センター 学生FDスタッフを募集します!

学生FDスタッフは大学教育・学生生活を主体性溢れる充実したものにしていくために、「学生が選ぶベストティーチャー賞」をはじめ、授業の質の向上に向けた取り組みや学生生活の充実に向けたアクションを推進していきます。学生・教員・職員の三位一体で法政大学をより良くしていきます。

学生FDスタッフ大募集

環境センター 屋上緑化維持管理メンバー募集!

環境センターでは、屋上緑化維持管理メンバーを募集しています。ボアソナード・タワー4Fグリーン・テラスで、花壇に花苗を植えたり、除草作業などを6月と11月に行っています。ガーデニングをやりたい方、屋上から環境を考えてみたい方、参加をお待ちしております。

□お申込み 法政大学環境センターのホームページからお申込み下さい。 <http://www.hosei.ac.jp/kankyokenshou/index.html>

◆編集後記

新年度がスタートし、ピア・ネットの各ユニットも気分新たに活動を開始しました。学生スタッフの合同研修会の開催も予定しています。ピア・ネット・マンスリーについてのご感想お待ちしております。

屋上緑化維持管理メンバー大募集